

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 田中亜鉛鍍金株式会社  
 コード番号 5980 URL <http://z-mekki.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理部担当)  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 成和  
 (氏名) 山村 健一郎

TEL 06-6472-1238

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,685	△18.3	△6	—	△17	—	△38	—
22年3月期第2四半期	3,288	△25.1	49	△90.7	51	△90.2	41	△87.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△5.92	—
22年3月期第2四半期	6.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	9,079	4,116	45.3	638.89
22年3月期	9,699	4,188	43.2	649.94

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 4,116百万円 22年3月期 4,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,903	△13.1	136	△32.2	106	△42.2	65	△55.8	10.11

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 6,627,360株 22年3月期 6,627,360株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 183,790株 22年3月期 182,792株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 6,443,843株 22年3月期2Q 6,444,568株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(第2四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や新興国経済の回復に牽引され、輸出や生産が増加していることなど一部に景気回復の兆しが見えたものの、雇用・所得環境の悪化や設備投資の低迷など、景気は依然として厳しい状況が続いております。当社グループの主要顧客である鉄構・建設業界におきましても、同様に非常に厳しい状況が続いております。

溶融亜鉛めっき業界では、好不況の波が3～6ヶ月遅れでやっけてまいりますので、引き続き受注の減少傾向は続いており、主原料である亜鉛価格は高止まりしております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「顧客満足度の向上」を掲げる経営方針に基づき、納期・品質ニーズへの対応などお客様第一の施策、さらには、生産の効率化とコスト削減ならびに適正販売価格の形成に努めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の売上高は受注量の減少により26億8千5百万円（前年同期比18.3%減）となりました。利益面につきましては、受注の減少に伴う生産効率の悪化と亜鉛価格の高止まり等により6百万円（前年同期は4千9百万円の利益）の営業損失となり、経常損失は1千7百万円（前年同期は5千1百万円の利益）、四半期純損失は3千8百万円（前年同期は4千1百万円の利益）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 財政状態の分析

当第2四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億1千9百万円減少し90億7千9百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億7千3百万円減少し36億7千1百万円でした。これは受取手形及び売掛金が5億3千7百万円減少したことによるもので、主に事業の季節的要因によるものであります。固定資産は1億4千6百万円減少し54億8百万円となりました。有形固定資産は1億5百万円減少し46億3千2百万円に、投資その他の資産が4千1百万円減少し5億6千2百万円になりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億4千8百万円減少し49億6千2百万円でした。これは長期借入金が返済により5億4千2百万円減少したことと支払手形及び買掛金が1億3千5百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7千1百万円減少し41億1千6百万円となりました。これは評価・換算差額等が1千7百万円、利益剰余金が5千4百万円減少したことによるものであります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5千9百万円増加し、9億4千8百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### 「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果、増加した資金は5億7千3百万円（前年同四半期比255.3%増）となりました。これは棚卸資産の増加額が1億6千1百万円、仕入債務の減額が1億3千5百万、法人税等の還付額が1億6千9百万円あったことによるものであります。

#### 「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果、使用した資金は7千8百万円（前年同四半期比44.4%減）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が6千5百万円あったことによるものであります。

#### 「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果、使用した資金は4億3千5百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が4億9百万円あったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日に公表いたしました平成23年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳しくは平成22年11月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められる場合においては、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### (資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。これによる、損益への影響はありません。

#### (棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成20年9月26日)を適用し、たな卸資産(原材料(亜鉛・亜鉛合金))の評価方法を後入先出法から総平均法に変更しております。

これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ107,875千円増加しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	948,166	888,310
受取手形及び売掛金	1,680,359	2,217,767
製品	101,923	98,859
原材料及び貯蔵品	730,100	572,113
繰延税金資産	26,656	20,251
未収還付法人税等	—	169,502
その他	190,688	188,494
貸倒引当金	△6,595	△10,546
流動資産合計	3,671,300	4,144,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,018,286	4,006,723
減価償却累計額	△2,793,527	△2,745,792
建物及び構築物(純額)	1,224,759	1,260,931
機械装置及び運搬具	3,569,471	3,561,853
減価償却累計額	△3,031,120	△2,938,363
機械装置及び運搬具(純額)	538,351	623,490
土地	2,764,308	2,764,308
リース資産	64,099	48,424
減価償却累計額	△20,389	△14,542
リース資産(純額)	43,710	33,882
建設仮勘定	28,973	26,747
その他	253,219	245,171
減価償却累計額	△220,585	△216,397
その他(純額)	32,633	28,773
有形固定資産合計	4,632,737	4,738,134
無形固定資産	212,812	212,790
投資その他の資産		
投資有価証券	262,467	257,902
繰延税金資産	5,447	9,192
その他	325,414	366,657
貸倒引当金	△30,482	△29,814
投資その他の資産合計	562,845	603,937
固定資産合計	5,408,395	5,554,862
資産合計	9,079,695	9,699,616

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	391,555	526,816
短期借入金	951,950	822,078
リース債務	13,827	10,769
未払費用	42,290	39,813
未払法人税等	35,308	3,259
未払消費税等	21,432	—
賞与引当金	148,129	139,987
設備関係支払手形	22,641	38,647
その他	421,031	453,508
流動負債合計	2,048,166	2,034,880
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,889,401	2,431,747
リース債務	32,068	24,928
繰延税金負債	4,711	16,958
再評価に係る繰延税金負債	282,416	282,416
退職給付引当金	435,105	455,489
役員退職慰労引当金	170,081	164,277
その他	1,009	315
固定負債合計	2,914,792	3,476,132
負債合計	4,962,959	5,511,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,958	770,958
資本剰余金	736,261	736,261
利益剰余金	2,234,211	2,288,459
自己株式	△37,826	△37,669
株主資本合計	3,703,605	3,758,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,728	24,189
土地再評価差額金	406,403	406,403
評価・換算差額等合計	413,131	430,593
純資産合計	4,116,736	4,188,602
負債純資産合計	9,079,695	9,699,616

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,288,412	2,685,643
売上原価	2,699,358	2,171,608
売上総利益	589,053	514,034
販売費及び一般管理費	539,266	520,942
営業利益又は営業損失(△)	49,786	△6,907
営業外収益		
受取利息	1,023	291
受取配当金	8,017	5,544
保険解約返戻金	23,114	—
法人税等還付加算金	—	4,871
その他	4,684	8,894
営業外収益合計	36,840	19,602
営業外費用		
支払利息	34,545	27,572
手形売却損	403	227
その他	615	2,661
営業外費用合計	35,563	30,461
経常利益又は経常損失(△)	51,063	△17,766
特別利益		
過年度損益修正益	4,565	—
貸倒引当金戻入額	3,812	3,459
賞与引当金戻入額	—	8,153
特別利益合計	8,378	11,612
特別損失		
固定資産除売却損	19,936	2,460
ゴルフ会員権評価損	—	850
特別損失合計	19,936	3,310
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39,505	△9,464
法人税、住民税及び事業税	6,093	31,607
法人税等調整額	△7,739	△2,935
法人税等合計	△1,645	28,671
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△38,136
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,151	△38,136



(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	1,732,590	1,350,010
売上原価	1,378,783	1,093,995
売上総利益	353,806	256,014
販売費及び一般管理費	280,922	266,797
営業利益又は営業損失(△)	72,883	△10,783
営業外収益		
受取利息	539	182
受取配当金	5,716	3,208
保険解約返戻金	23,114	—
法人税等還付加算金	—	4,871
その他	1,746	4,527
営業外収益合計	31,117	12,790
営業外費用		
支払利息	16,906	13,439
手形売却損	195	116
その他	25	1,146
営業外費用合計	17,127	14,702
経常利益又は経常損失(△)	86,873	△12,695
特別利益		
貸倒引当金戻入額	830	1,238
賞与引当金戻入額	—	8,153
特別利益合計	830	9,391
特別損失		
固定資産除売却損	5,363	1,183
ゴルフ会員権評価損	—	850
特別損失合計	5,363	2,033
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	82,340	△5,336
法人税、住民税及び事業税	10,487	27,827
法人税等調整額	1,047	△5,342
法人税等合計	11,535	22,484
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△27,821
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,805	△27,821

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39,505	△9,464
減価償却費	197,904	167,640
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,715	8,141
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,971	△3,283
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,575	△20,384
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△130,987	5,803
受取利息及び受取配当金	△9,040	△5,836
保険返戻金	△23,114	—
支払利息	34,545	27,572
固定資産除売却損益(△は益)	19,936	2,460
会員権評価損	—	850
売上債権の増減額(△は増加)	590,282	537,408
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,100	△161,050
仕入債務の増減額(△は減少)	△159,477	△135,261
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,981	21,432
前受金の増減額(△は減少)	△181,542	—
その他	29,551	△7,304
小計	445,850	428,724
利息及び配当金の受取額	9,052	5,919
利息の支払額	△31,337	△27,077
法人税等の支払額	△262,083	△3,273
法人税等の還付額	—	169,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,481	573,797
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△209,921	△65,245
有形固定資産の除却による支出	△8,635	△1,018
無形固定資産の取得による支出	△3,926	△5,756
投資有価証券の取得による支出	△101,415	△996
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
保険積立金の解約による収入	105,571	—
その他	△22,992	△5,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,318	△78,577
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,000	△3,000
長期借入金の返済による支出	△493,546	△409,474
自己株式の取得による支出	—	△156
リース債務の返済による支出	△5,490	△6,810
配当金の支払額	△47,841	△15,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△549,878	△435,363

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△529,715	59,856
現金及び現金同等物の期首残高	1,824,902	888,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,295,187	948,166

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

当社連結グループは、専ら溶融亜鉛めっき加工及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社連結グループは、専ら溶融亜鉛めっき加工及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日 至平成21年9月30日）

	中国	計
I 海外売上高（千円）	138,838	138,838
II 連結売上高（千円）	1,732,590	1,732,590
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	8.0	8.0

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	中国	計
I 海外売上高（千円）	302,500	302,500
II 連結売上高（千円）	3,288,412	3,288,412
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.2	9.2

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

〔セグメント情報〕

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、専ら溶融亜鉛めっき加工及びこれに付帯する事業をおこなっており、関西圏では当社が、首都圏では横浜ガルバー(株)が、東北圏では秋田ガルバー(株)が、それぞれ連携しながら、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「関西圏」、「首都圏」、「東北圏」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、専ら溶融亜鉛めっき加工及びこれに付帯する事業をおこなっており、関西圏では当社が、首都圏では横浜ガルバー株が、東北圏では秋田ガルバー株が、それぞれ連携しながら、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「関西圏」、「首都圏」、「東北圏」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	関西圏	首都圏	東北圏			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,524,886	1,000,090	160,665	2,685,643	—	2,685,643
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,497	17,769	8,572	49,839	△49,839	—
計	1,548,384	1,017,859	169,238	2,735,482	△49,839	2,685,643
セグメント利益又は損失 (△)	△56,303	38,104	8,929	△9,269	2,361	△6,907

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	関西圏	首都圏	東北圏			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	764,485	516,591	68,934	1,350,010	—	1,350,010
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,077	4,262	8,572	25,912	△25,912	—
計	777,562	520,853	77,506	1,375,922	△25,912	1,350,010
セグメント利益又は損失 (△)	△36,301	26,336	△2,043	△12,008	1,225	△10,783

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。